



あなたのサプライズが、嬉しかったのは本当。
 だけど私、来月がプレツシヤーだわあ(笑)。

露天風呂客室 A タイプ

もみじ谷大吊橋には午後すぐに着いた。景色を堪能しながら橋を渡り、そして宿へ向かう道すがら「逆杉」にも立ち寄る。「まあ大きな杉」「樹齢約九五〇年だ」と主人。私よりずいぶん年上ね、と笑って旅館へ。今日は誕生日。珍しく主人が予約して連れてきてくれた。中に入るとウエルカムデザートが出される。じんわりと甘いものが体にしみわたって…美味しい。最初の幹なもてなしに、私はご機嫌でお部屋に入った。

木の香漂う露天に、そうつと体を沈める。ふうっ…と息をはくと、心地よい風が頬をすり抜けていく。和室では、何だか落ち着かない様子の主人。どうしたの？と声をかけると「夕食は別室に行くんだ」と背を向ける。身支度を整えて後に続くと、そこは静かな個室風の食事処。輝いた海の幸、栃木県の山の幸が美しく彩られて並べられてゆく。わあ美味しそうね、と口に運べば、それはまた予想以上の味で…。

「こんな素敵なお部屋知ってたの？」と尋ねると「いや、部下の高橋に、ちよつとな」と口を濁す。そうか、高橋さんに聞いたのね。彼、センスいいものね、とは言わなかったけど「ありがとう、連れてきてくれて」そう言ったのに、心ここにあらずの様子。まったくもう、どうしたつてのかしら。

食事を終えて薄暗い部屋に戻る。「電気つけてくれないか」と言われて、ばかり。

「えっピンクのカーペラ…」華やかな花の色が瞳に飛び込んでくる。そして添えられたカードを開くと「お誕生日おめでとう。いつまでも元気でいてくれ」走り書きのあなたの字が、ぼたり、と涙でにじんだ。

「一緒に露天に入るか」と向こうをむいている。ちよつと照れながら、2人星空の下、並んで湯に浸かった。「プロポーズの時以来



右ノ和室 10 畳に露天風呂がついた A
タイプの客室。中上ノ露天のない和室
10 畳には、マッサージチェアがある。
中下ノ壱原ダムの上に、全長 320m の
もみじ谷大吊橋がかかっている。大人
300 円を払う価値以上の空中散歩が楽
しめる。左ノ宿から車で 5 分程にある
「逆杉」は実は壱原のパワースポット。
全ての枝が下向きに伸びているとか...



和室 10 畳



記念日

これまで沢山のお客様
様の記念日をお手伝い
してきたふじや。小さ
な宿だからこそできる
細やかなサービスで、
ワンランク上の記念日
を過ごせる。
お祝いしたいけれ
ど、どうすればいいの
か分からない、一緒
に行く相手に内緒で、
ちょっとしたサプライ
ズ演出してみたい...
など、気軽にご相談を。
お花やケーキなどをお
出しするタイミングも
指定可能。
記念日旅行には、数
えきれない演出と感動
がある。お誕生日、結
婚記念日、敬老の日、
父の日、母の日。全て
が感謝の気持ちを伝え
る、素敵なきっかけに
なりますように。

アニバーサリープラン



- ①お花のブーケ or ホールケーキから選択
(人数に合わせてサイズをご用意)
- ②夕食時にスパークリングワインの
ボトルをご用意
- ③口の中ですとろける極上のとちぎ和牛の
霜降りトロ握り付き
- ④夕食時のお刺身を、お祝いバージョンへ
グレードアップ
- ⑤加えて、できる限りのお手伝いをします。
お気軽にご相談ください。



ね。びっくりしたわ。ありがとう」
湯の音と、風の音だけがそこにある。そ
れだけで夫婦はつながっている。その幸福
に浸っていたけど。あら？来月は主人の誕
生日だわ！どうしようかしら...



レズを通して、やっと正面から見られた。
なぜか照れくさい、2人きりの初めて旅。

黒磯板室インターで降りると、真っすぐアウトレットに入っていく。彼女の希望は最初に叶えておかないとな、なんて思いながら。ついつい一緒に買い物を楽しんでしまった。紙袋をトラップに仕舞い、宿へ向かう途中の大吊橋にも立ち寄る。「怖いよ」とつぶやく彼女の手をしっかりと握りしめたら、あとは旅館へ。予約した部屋は、2人だけのプライベートな空間。けれど食事の時には別室へ向かう。僕の好きな日本酒と彼女の好きなワインも揃い、上機嫌の様子。よかった、と安堵する。夕暮れが塩原の空を紺碧に染めていく。その最高の景色の中、露天風呂へ。温泉でしっかりと温まりすぎた僕は、デッキに座って夕涼み…。その時後ろで、がたん、と音がする。「ね、私も入っていい？」期待してなかったといえば、ウソになる。「どうぞ」なんて格好良く言ってみたりして。「わ、月がキレイ」と湯に浸かる彼女の横顔。ああ、来てよかった。ホント良かった…。

翌朝はチェックアウトの後に、宿のスタッフの勧めで母屋を見せていただいた。風情ある造りに、2人で驚きつつも記念撮影。フラインター越しに見える笑顔が、何だか昨日よりも眩しい。帰り道には、「湯っ歩の里」へ。裸足になって無邪気に足湯回廊を歩く彼女の背中を見ていたら、くると振り返って「あのね、今日はありがとう。」あ、先に言われちゃったな…。



右上／もみじ谷大吊橋。ゆれても2人なら怖くない。中／那須のアウトレットは黒磯板室Kから車2分と便利。右／器も目を引く美しき料理。中下／料理に合う地酒の他、人気のワインや、カクテルなども揃っている。左／雰囲気ある個室風の食事処で、2人きりじっくりと味わって



右上／共用露天風呂。17 時までのチェックインで貸切利用可能。右下／ 200 年前の造りがそのまま残る母屋。記念撮影にお勧め。時代が戻ったかのような素敵な写真が撮れる。中／露天付き和洋室 8 タイプは質沢な空間。和室 8 畳とベッドルームが広がる。左／温泉街にある「湯っ歩の里」は日本最大級の足湯。靴をロッカーに預けて、湯の中を歩く。2 人手をつないで足湯を楽しんでほしい。大人 200 円

器へのこだわり



料理に注力するのは当然だが、それを更に美しく見せてくれるもの。それが「器」。食材の生産者、生産地にこだわるように、どれでもいいというわけでない。



有田焼の器に、手書きの花々が舞うオリジナルの陶器。ゲストが同じをものを見ることのないよう、季節ごとに、食材ごとに、メニューごとに料理長自ら目利きする。あくまで脇役、けれども主役級の気持を込める。

料理が絵なら、器は額縁。食事の際は、ぜひ絵画として眼を向けてほしい。オリジナルの陶器は、売店でも一部販売している。

厳選素材



修行時代に銀座の加賀料理店にいた料理長が、独自ルート開発した、石川県から届く海産物。同じ土地だからこそ合うと選んだ石川県珠洲の天然塩。そして栃木県だからこそ育った美味なる「とちぎ和牛」。



それらの王道食材を支えるのは、自家製の野菜たち、1 等米のご飯、大豆から作る自家製味噌。どれも味わい深い、ふじやの愛情たっぷりの品々だ。全ての出演者が揃う夕食と朝食を、ぜひ楽しんでほしい。



子どもたちのその笑顔が、明日から
また頑張る僕の、パワーになってくれる。

もみじ谷大吊橋に行く前に、子どもたちの「牛さんがいる！」という声につられて道の駅に寄った。「なんだ。作りののだあ」と1年生の娘が笑う。「明日は本物の牛も見に行くから」と妻がいいながら、美味しそうなおまんじゅうを購入。小腹を満たし、吊り橋を眺めてから旅館へと向かった。

お部屋は贅沢な和洋室。やったあ、と叫んだ3年生の息子が急いで服を脱ぎ、部屋付きの庭園風呂へ直行。あわてて娘も追いかけている。来たばかりになのにあわただしいな、と苦笑しながらも、妻の入れてくれたお茶を飲む。

子どもたちが楽しそうにお風呂に入っているのを眺めた。「いいわね、様子が見られて安心」と妻がつぶやく。そうだな。もう小学生とはいえ、子どもたちだけでの入浴は少し心配。だけどお部屋に付いているお風呂なら、お互いに顔が見えるので安心だ。

「私も入ろう」と妻が立ち上がる。僕は1人、窓の向こうの庭園を眺めながら、子どもたちの笑い声を聞く。じんわりと流れる空気に、家族の幸せをほんやり想った。

夕食は妻と一緒に乾杯し、普段は食べない野菜を口に運ぶ娘に驚く。「おいしい」と頑張る姿に、また酒も旨い。

食欲が満たされた子どもたちは、ベッドの取り合いをしながらも、ぐっすりと眠り始める。僕と妻は和室で、もう少しだけお酒を楽しんだ。

翌朝、今度はお米ばかりを口に放り込む息子。「急がなくてもいいから」と声をかけると「早く牧場に行きたいもん」と返事。そうか、とチェックアウトして千本松牧場へ。「牛！」と叫んで走る娘。やはり一番の目的はそれなんだな、と呆れつつもその背中を追いかける。どこまでも広がる緑と、向こうに見える山に、僕は大きく深呼吸した。家族サービス、のつもりだったけど、僕も癒されているな、と思いつつ、さあ、また明日から頑張ろうと。



右ノ和洋室に庭園風呂がついたCタイプ客室。広くて快適に過ごせる、ふじやで最も贅沢な空間。左ノ毎日届く新鮮魚介、そして自家野菜で作るフレッシュな野菜ジュースは、朝の体にぎゅっとしみ込む。一番左は共用の露天風呂。40分貸切できるので、塩原の温泉を思う存分堪能。24時間利用可能。



庭園風呂付き客室Cタイプ



右頁ノ道の駅「アグリバル塩原」は地元の野菜の他、スコーンやケーキなどの洋菓子も豊富。熱気球のある千本松牧場は那須塩原に近くという便利な立地にありながら、広大な自然に圧倒される。塩原の新しい名物「とて焼」もお勧め。写真はくだもの屋カフェ「藤屋」のパフェとて。チーズムースが美味！左頁ノ和洋室 20 畳の客室。女子トークも盛り上がる、寛ぎやすい空間だ。

「彼は大切だけど、仕事も面白くなってきた…」 本音トークで月も隠れる、女3人秘密の夜。

「自分の荷物は自分で持ってたよ！」と後ろから声が聞こえる。「あ、こめん」と笑って美帆の手からアウトレットで買ったブランド袋を受け取った。どうも買った満足、のバターらしい自分。だけど今日は特別！大学時代からの気の置けない友3人で那須塩原にやってきた。アウトレットで半日過ごした私たちは、ようやく夕方にチェックイン。ちよつと急いで温泉に浸かったら、すぐに夕食スタート。あつという間に日が暮れていた。

「たくさん買い物したよね」とまたその話に戻る。「だって可愛かったもん。しかも安いし。都内であの価格はありえない」。お酒を片手に食事進む。お腹がいっぱいになったわりには「まだ飲むよね？」とスタッフにワインを頼んだ。んん、おいしい。

お部屋に戻ると「あたし、もう一回温泉入ってくる」と里佳。自分と美帆はソファに座ってまたワイン再開ね。「結婚しないの？」「あんたはうちの両親か？」なんてお互いに牽制しつつも本音を暴露。そのまま就寝できるあたりは、女同士のいいところ。

翌朝は新鮮野菜ジュースですっきり目覚め、宿から温泉街に向うことにする。共用駐車場に車を停めて、雰囲気ある温泉街をてくてく歩く。お目当ては「とて焼」。クレープに似ているけどちよつと違う、この塩原の名物を食べ歩き！「いちご入ってるう」と甘いもの大好きな里佳は、「和菓子系も行きたい」とよくばりなこと言ってる。まだまだ女の旅は続きます。





あなたにお会いできる日を
心からお待ちしております。



塩原温泉 心ゆくまでの味わい



四季味亭

ふじや

〒329-2923 栃木県那須塩原市上塩原 675

ご予約・お問い合わせ

TEL 0287-32-2761

http://www.1fujiya.com

- 客室 和室2 和洋室1 (ベッドルーム付)
露天風呂付客室2 (和室タイプ・和洋室ベッドルーム付タイプ)
庭園風呂付客室1 (和洋室ベッドルーム付)
- チェックイン 15:00 ~ チェックアウト 10:00
- アクセス < 車 > 東北自動車道西那須野 IC より R100 経由で約 30 分
< 電車 > JR 東北新幹線、那須塩原駅より塩原温泉 B・T 行き
バスで約 50 分 終点下車後、車で 5 分 (送迎あり・要予約)

17 時までにはチェックインの方に限り 40 分間無料で大浴場・露天風呂貸切 OK

四季味亭ふじや

検索

モバイルサイトでも
ご予約できます。



様々なプランをご用意しています。詳しくは HP をご覧ください

スタッフ 加藤京子
「たくさん笑顔と喜びが集まる、
ふじやが私は大好きです」



ふじや板長 細井邦彦
「おふくろの味のようないつまで経っても忘
れることがない『優しさ』と『懐かしさ』をもった
味を常に内に秘め食材と向き合っています」



ふじや女将 細井きこ子
「できるだけ多くのお客様に、私たちと
の触れ合いの中で喜んで頂きたいです」

<ふじや Style プラン> 1泊2食付き(入湯税・サービス料込)

露天風呂客室 A タイプ

- 和室 10 畳
- 定員 4 名

露天風呂客室 B タイプ

- 和洋室(和室8畳+ベッドルーム)
- 定員 4 名

庭園風呂付き客室 C タイプ

- 和洋室(和室10畳+ベッドルーム)
- 定員 6 名

モダン和洋室 20 畳

- 無料マッサージチェア完備
- 定員 5 名

和室 10 畳

- 無料マッサージチェア完備
- 定員 4 名

	平日	休前日
2名様1室	22,200	24,300
3名様1室	20,100	22,200
	平日	休前日
2名様1室	23,250	25,350
3名様1室	21,150	23,250
	平日	休前日
2名様1室	24,300	26,400
3名様1室	22,200	24,300
	平日	休前日
2名様1室	20,100	22,200
3名様1室	18,000	20,100
	平日	休前日
2名様1室	18,000	20,100
3名様1室	15,900	18,000

※幼児 50%・小学生 70%・3 歳未満は入館をご遠慮いただいております。